

平成29年度公益財団法人埼玉県体育協会第二回臨時理事会議事録

日 時 平成30年1月17日（水） 午後1時00分から
場 所 スポーツ総合センター203.204研修室
出席者
理 事 櫻井 勝利 三戸 一嘉 羽鳥 利明 浅見 茂 新井 彰
荒木 郷兵 有川 秀之 梅澤 昌好 大塚 賢一 河本 弘
後藤 節哉 保科 征男 松中 直司 宮内 孝知 茂木 敬司
森田 進一 山崎 正治 山下 誠二 山中 茂樹
監 事 原口 博 堀口 信孝 青砥 修二
事務局 栗原 健一 野澤 誠一 久保 吉史 阿部 隆宏

栗原事務局長 資料の確認。それではただ今から平成29年度第二回臨時理事会を開催致します。

始めに定足数の確認を致します。理事総30数名、出席19名定款第34条により、本理事会の成立をご報告いたします。

それではご挨拶を頂きます。公益財団法人埼玉県体育協会代表理事櫻井勝利副会長が、ご挨拶申し上げます。

櫻井副会長

本日は、急遽臨時理事会を招集させていただきましたが、時節柄お忙しい中お集まりいただき、先ず以てお礼申し上げます。先週の金曜日には、新春恒例の「競技団体長・支援企業等協議会」開催し、成功裏に終了したことに対しましても、改めて厚くお礼を申し上げます。

さて、只今スポーツ界では、良いこと悪いことが多く見受けられます。いよいよ来月の九日から、平昌にて冬季オリンピックが開催されます。主将を、スピードスケートの小平奈緒選手が、旗手を冬季大会8回出場のレジェンド、スキージャンプの葛西紀明選手が務めることになりました。多くの方々が、メダル獲得や活躍に多くの期待が寄せられています。

また、先般、カヌー競技において、ライバルを蹴落とすために、飲料水に禁止薬物を入れてドーピング違反にし、飲ませた鈴木選手に8年間の資格停止処分（JADA決定）を課せられた事件がありました。非常に残念な事件でした。

今やスポーツは、ただ良い記録を作り出すだけでなく、人として確りとした道を歩めるように、心の指導も大切なものとなっております。

さて、本日は、ご案内にもありましたとおり、緊急を要する事案が出てきてしまったと言うことで、本日、急に皆様方にお集まり頂きましたこととお詫び申し上げますとともに、本日議案一件に対して、会を進めさせて頂きます。

栗原事務局長

ありがとうございました。議事の進行は、定款第33条により、櫻井勝利副会長に議長をお願い致します。

また、定款第37条第2項により、出席代表理事と出席監事の方に議事録の署名をお願い致します。

櫻井議長

それではご指名を受けましたので、暫議長を務めさせていただきます。協議事項第一号議案「スポーツ振興くじ助成事業にかかる契約手続きに対する改善方策について」を議案と致します。それでは三戸副会長、説明をお願い致します。

三戸副会長

櫻井副会長のご挨拶にもございましたが、新年早々、臨時理事会を招集しなければならない事態に至った事に対しまして、事務局を預かる者として、理事・監事の皆様にご迷惑をお掛けいたしましたこと、お詫び申し上げます。

それでは第一号議案についてご説明いたします。本会では季刊誌「スポーツ埼玉」と、スポーツ少年団広報誌「スポーツともだち仲間たち」に対して、totoの助成を受けております。

去る平成29年10月13日(金)に日本スポーツ振興センターによる調査がありました。そのうち、年4回発刊しているスポーツ埼玉誌の事務手続きについて「一部の印刷製本費において、見積書の日付けが契約書締結日、請求書及び納品書受領日以降となっており、適正な契約手続きが行なわれていない」との指摘を受けました。

改善方策につきましては、本会理事会等において機関決定の上、平成30年1月26日(金)までに文書にて回答する旨の依頼がありました。依頼文書は、平成29年12月27日付けの文書を翌28日に受け取りましたので、12月19日の第三回に諮ることが出来ませんでしたので、大変申し訳ありませんでしたが、本日お集まりいただきました。

見積書の内容に不備があったものに対して、差し換えを依頼した際、最初の日付ではなく、再提出の日付のもので整えてしまいましたので、改善方策としては「随意契約により契約を締結する場合は、その起案に本会契約基準要領第21条第3項に基づき、チェック表を設け適正に処理する」と致しました。

櫻井議長

本会の理事会の議決を採るよう指導があり、本日の臨時理事会が招集された事も踏まえまして、ただ今の説明について何かご質問等ございますか。

それではお諮りいたします。第一号議案「スポーツ振興くじ助成事業にかかる契約手続きに対する改善策について」ご承認いただけますでしょうか。よろしければ拍手を持ってご承認願います。

理事

承認。

櫻井議長

ご覧お通り第一号議案は、原案の通り決しました。

櫻井議長

それでは次ぎに報告事項「ジャパンライジングスタープロジェクト」並びに「競技団体長・支援企業等協議会」について

ては、一括して説明いただき、その後、一緒に質疑に入りたいと思います。それでは、三戸副会長説明をお願い致します。

三戸副会長

前回の理事会移行の報告ですが、冒頭櫻井副会長のご挨拶にもございましたとおり、1月12日（金）に、競技団体長・支援企業等協議会を開催いたしました。新しい企画として、アスリートの支援について、基調講演とパネルディスカッションを行いました。

次に、国家プロジェクトのジャパンライジングスタープロジェクトですが、先般の理事会でご承認頂きましたとおり、ボート競技活動拠点県として、第3ステージの検証Ⅱが、北海道から九州福岡にかけて選ばれた、男子2名女子3名計5名の選手が、戸田の漕艇場に集まり、本県の国体監督や全日本のコーチ経験者から指導を受けおられます。選ばれた選手たちは、ボート競技に向けた体型や運動スキルなど素質を持つ子たちではありますが、ボート競技の経験はありませんので、まずは正しく艇に乗れること、漕げることから始めています。

さすがに素質のある子たちですので、2回目の合宿からはシングルスカルに一人で乗船しての訓練や、転覆しづらいナックル艇から競技艇に変えて漕ぎ始めております。

3月には、日本ボード協会が行っているエリートアカデミーに進める者かそうでないも者かの検証を行います。

視察にも行って参りましたが、選手も保護者も意欲的に取り組んでいる印象を受けました。

また、選手のみならず保護者や、選手の所属県の指導者の往復交通費も委託事業対象となっており、また、本県での拠点県合宿だけでは選手として育ちませんので、居住地での強化にかかる費用も対象となっております。

日本ボート協会と本県のボート協会関係者で、合宿の良かった点や悪かった点など成果を話し合い、その内容を所属県の指導者に伝え、意思の疎通を図って進めております。

櫻井議長

只今の報告事項について何かご質問等ございますか。無ければ最後にその他、事務局何かありますか。

栗原事務局長

事務連絡をお伝え致します。前回同様となりますが、今後の会議等の日程ですが、2月8日（木）に顕彰委員会、前回の理事会で新規加盟を希望する団体が2団体あると報告いたしましたが、申請の意思を示されましたので、今月の31日までに申請書が提出された時は、2月中旬に加盟団体審査委員会を開催したいと存じます。

総務委員会を理事会の前の3月上旬、3月9日（金）に第四回理事会を予定しておりますので、その一週間前の2日（金）頃に開催したいと存じます。3月26日（月）には臨時評議員会の予定です。年度末のお忙しい大変申し訳ありませんが、ご

予定をお願い致します。以上でございます。

櫻井議長

全体をとして、他に何かございますでしょうか。よろしければ、以上を持ちまして、議長の座を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

栗原事務局長

櫻井副会長には、議長の任をお務め頂き、誠にありがとうございました。以上を持ちまして、平成29年度第二回臨時理事会を終了致します。

会議終了 午後1時23分